

社会人アカデミー講演会 蔵前工業会共催

2022 講演会 要事前申込

東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

「資源・文化・情報」の今と未来

学問的区分を越えた総合的な知を通して、
人類社会の現在、そして未来を大胆に展望する。

オンライン
対談講演会

第一
回

11/12 (土) 15:00-17:00 「資源×文化」



横井 俊之 (Toshiyuki Yokoi)
科学技術創成研究院 ナノ空間触媒研究ユニット 准教授

北村 匡平 (Kyohhei Kitamura)
科学技術創成研究院 未来の人類研究センター
リベラルアーツ研究教育院 准教授



第二
回

11/19 (土) 15:00-17:00 「情報～現実×仮想空間～」



福留 真紀 (Maki Fukutome)
リベラルアーツ研究教育院 准教授

渡辺 義浩 (Yoshihiro Watanabe)
工学院 准教授



開催形式: オンライン開催 (Zoom ウェビナーを用いたライブ型対談講演会) 定員: 各回先着 **150** 名

申込期間: **9月1日(木)14:00** ~ **11月1日(火)12:00(正午)**

本講演会は、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する中での社会貢献の一環として、**無料**で開催いたします。

各回の時間・講師略歴・申込方法は、裏面もしくは社会人アカデミーウェブサイトでご確認ください。<https://www.academy.titech.ac.jp/events.html>



対談講演時間・講師紹介

※講演タイトル及び内容は変更となる場合があります。変更がありましたら、社会人アカデミーウェブサイトにてお知らせいたします。

第一回

11/12(土) 15:00~17:00

資源×文化



横井 俊之 東京工業大学 科学技術創成研究院 ナノ空間触媒研究ユニット 准教授

2004年横浜国立大学大学院工学府機能発現工学専攻修了(短縮修了)、博士(工学)取得。同年、東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻助手。2006年より東京工業大学資源化学研究所助教を経て、2017年より東京工業大学科学技術創成研究院ナノ空間触媒研究ユニット助教/研究ユニットリーダー、2018年より現職。この間2016年~2019年さきがけ研究者。専門はゼオライト科学、触媒化学。

在来型・非在来型資源も含めた多様な炭素資源の有効利用に資する触媒反応プロセスの開発

私たちの身の回りには多種多様な化学製品が存在している。今日、製品原料としてナフサ等の化石資源を大量に消費しており、二酸化炭素排出による地球温暖化への影響が懸念され、また、輸入に頼る石油の価格上昇や枯渇リスクに常に直面している状況でもある。在来型・非在来型資源も含めた多様な炭素資源の有効利用、そして化学産業におけるカーボンニュートラルの実現は急務になっている。これらの課題解決に資する触媒反応プロセスについて紹介する。



北村 匡平 東京工業大学 科学技術創成研究院 未来の人類研究センター/リベラルアーツ研究教育院 准教授

東京大学大学院学際情報学府修士課程修了、同大学博士課程単位取得満期退学。日本学術振興会特別研究員(DC1)を経て、現在、東京工業大学科学技術創成研究院准教授。専門は映像文化論、メディア論、表象文化論。単著に『スター女優の文化社会学—戦後日本が欲望した聖女と魔女』(作品社、2017年)、『美と破壊の女優 京マチ子』(筑摩書房、2019年)、『24フレームの映画学—映像表現を解体する』(晃洋書房、2021年)、『アクター・ジェンダー・イメージズ—転覆の身振り』(青土社、2021年)、『椎名林檎論—乱調の音楽』(文藝春秋、2022年)、共編著に『リメイク映画の創造力』(水声社、2017年)などがある。

デジタル技術時代におけるポストメディア社会の横断的文化現象と創造力

現在、従来のアナログ時代ならば異なる媒体と見なされてきた諸メディアがデジタル化によって差異を消失させ、異種混濁的なメディア文化を形成している。2010年代はソーシャルメディアが生活に深く入り込んで、私たちの生活やコミュニケーションを規定するようになった。本講演では、21世紀のデジタル技術時代における文化現象としてバーチャルYouTuberを取り上げ、メタバースなどのテクノロジーが導く未来社会と接続させる。

第二回

11/19(土) 15:00~17:00

情報~現実×仮想空間~



福留 真紀 東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 准教授

お茶の水女子大学大学院博士後期課程修了。博士(人文科学)。専門は日本近世政治史。日本学術振興会特別研究員、長崎大学教育学部准教授などを経て、2017年より現職。著書に、『徳川将軍側近の研究』(校倉書房)、『将軍側近柳沢吉保 いかにして悪名は作られたか』、『将軍と側近 室鳩巢の手紙を読む』、『名門水野家の復活 御曹司と婿養子が紡いだ100年』(すべて新潮社)、『名門譜代大名・酒井忠孝の奮闘』(文藝春秋)などがある。

「人」から歴史を考える —実像とイメージ—

歴史上の著名な人物について、多くの人が共通するイメージを語ることができます。しかしそれは、実像とは異なることも多いのです。歴史学が明らかにしてきた実像と、多くの人が抱くイメージとの間には、何があるのでしょうか。両者の関わりについて、考えます。



渡辺 義浩 東京工業大学 工学院 准教授

2007年 東京大学 情報理工学系研究科 システム情報学専攻 博士課程修了。2007年 同研究科 リサーチフェロー、2008年 同研究科 特任助教、2011年 同研究科 助教、2014年 同研究科 講師。2018年より東京工業大学 工学院 情報通信系 准教授。知的情報処理と計測技術を融合する高速実世界センシング、実世界のダイナミックデジタルアーカイブ、超高速プロジェクトの進化と実世界拡張などに着手。

現実と仮想を融合する視覚世界の創出

プロジェクションマッピングは、仮想の投影像と現実の立体物が融合した新たな視覚世界を創り出すことができる。このような拡張現実技術は、様々な応用分野で強力な役割を果たすことが期待されている。特に本講演では超高速投影技術によって、運動する物体に対しても現実と仮想の融合をもたらすダイナミックプロジェクションマッピングを紹介する。

申込~参加の流れ



↑
お申し込みはコチラから

Web申込

要事前申込

受付完了メール受領

開催日前日までに参加用

ZoomウェビナーURL受領

当日参加

【注意事項】

【注意事項】

【蔵前工業会会員(会費納入者)への特典】

- ✓ 蔵前工業会会員の枠の確保
- ✓ 優先質問権の付与
- ✓ 希望した場合、講演資料の配布

- ※ 講師への質問は事前受付しております。当日質問も受け付けますが、回答できる質問には限りがございますので、ご了承ください。
- ※ 受講に係わる通信環境の整備は受講者にて準備をお願いします。
- ※ 録画、録音、撮影、スクリーンショットは禁止します。
- ※ やむをえない事態により講演会が中止もしくは延期となる場合には、お申し込み時に連絡いただいたメールアドレスにご連絡いたします。社会人アカデミーウェブサイトにも掲載します。

お問い合わせ

東京工業大学社会人アカデミー事務室

所在地: 〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター809号

e-mail: jim@academy.titech.ac.jp 電話: 03-3454-8722/8867 HP: <https://www.academy.titech.ac.jp/>

